

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	胸壁腫瘍切除後の腫瘍学的ならびに機能的転帰の解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	1990年1月から2025年11月に当院または新潟県立がんセンター新潟病院で胸壁腫瘍切除を行った患者様
③概要	胸壁腫瘍を切除した際の治療成績や、術後の機能障害の有無を過去の臨床例を元に解析し、評価する。
④申請番号	※倫理システムの承認番号。申請時には未採番（空欄）となる。
⑤研究の目的・意義	胸壁切除後の呼吸障害は、欠損した胸郭の大きさと関連すると考えられ、術前胸腔体積や胸壁の欠損面積といった形態量を定量化しておくことは、術後呼吸機能を予測するうえで重要となる。また、胸壁悪性腫瘍に対して四肢軟部腫瘍の切除範囲の概念をそのまま適用できるという実証は乏しく、側方断端の評価や、深部の胸膜が四肢の筋膜と同様のバリアーとして機能するかを病理学的に示すことは、過大切除と過少切除を避けるうえで臨床的・科学的に妥当と考える。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2028年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	取得する情報については、氏名や診療番号を削除して研究用IDを付与して対応表を作成し、対応表と照合しない限り特定の個人を識別することができない情報として扱う。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合があるが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはない。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録、画像検査、病理結果
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 整形外科 有泉高志 共同研究機関：新潟県立がんセンター新潟病院
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 整形外科 有泉高志 共同研究機関：新潟県立がんセンター新潟病院
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟県立がんセンター新潟病院 骨軟部腫瘍・整形外科 氏名：畠野 宏史 Tel：025-266-5111 E-mail：orthatano@niigata-cc.jp

※オプトアウト書式は、倫理システムの申請画面末尾の添付資料欄に掲載してください。

承認後は倫理事務局が毎月まとめて情報発信委員会へ依頼し、ホームページに掲載します。